



広報
あびら
2017. 2 No. 131

表紙 平成 29 年安平町成人式より
「旧友との再会に」

特集 安平町地域公共交通網形成計画の 策定に向けて 2 頁

一 目 次 一

地域おこし協力隊着任	6 頁	平成 29 年安平消防出初式	15 頁
ひと月のアルバム	7 頁	国民年金からのお知らせ	16 頁
あびら回顧録（平成 19 年 2 月編）	9 頁	お知らせ	17 頁
あびらチャンネル 企画 あびらでつながり隊！	10 頁	第 2 次総合計画に係る町民説明会開催	20 頁
安平町施設巡り Vol. 10	11 頁	北海道日本ハムファイターズからのお知らせ	21 頁
こんなちは保健師です④	12 頁	休日当番病院	22 頁
追分高校です⑥	13 頁	戸籍の窓口から	23 頁
広報モニター活動報告	14 頁	元気に大きくな～れ！	24 頁



安平町フェイスブック公式ページ
<https://www.facebook.com/town.abira>



あびら地域公共交通便り

～安平町地域公共交通網形成計画（素案）の概要をお知らせし、皆さんのご意見を募集します～

第3号

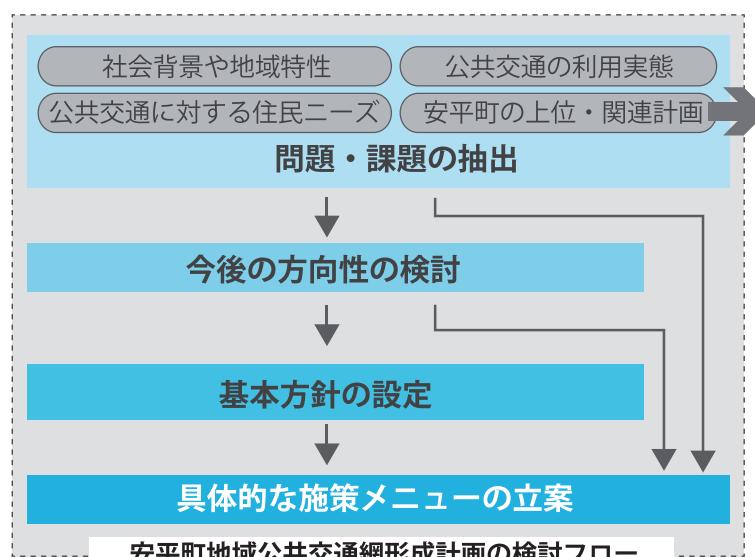
【編集・発行】安平町企画財政課企画グループ

はじめに



安平町では まちにとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする基本計画として、「安平町地域公共交通網形成計画」の策定作業を進めています。この間、町の将来人口推計や公共交通の特性のほか、鉄道やバスの利用実態調査、地区別の意見交換会や住民アンケートをはじめとした各種調査結果などを基に検討を重ねてきました。

これらの結果を踏まえ、既存の公共交通が有効に機能し、地域住民の足を支えるだけでなく、他のまちづくり施策と交通施策とが一体となった計画として、来年度以降においてさらに検討・推進を図る施策メニューを盛り込んだ計画の素案を作成しましたので、その概要をお知らせします。



安平町まちづくり条例・安平町町民参画推進条例

上位
計画

第2次安平町総合計画（H29-38）

安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27-31）

反映

安平町地域公共交通網形成計画

連携

関連
計画

苫小牧都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

苫小牧都市圏の都市交通マスターplan (H24-42)

安平町の地域特性

日本全体が人口減少局面に入っているなか、安平町も経年的に少子高齢化が進行している状況にあります。人口減少対策により緩和を図っていますが、今後もその傾向が続くことが予想されており、公共交通でしか移動できない町民の増加が想定されます。

安平町内の公共交通は、以下に示すとおり小さな町でありながら多岐にわたっている一方、利用者の少ない便や経路が重複している区間などがあり、既存の公共交通を活かして、交通事業者の共存や費用負担とのバランスも加味した最適なサービスの検討が必要です。

無料巡回バスが交通事業者の経営を圧迫し、撤退問題に発展した過去があります。鉄道・民間バス・ハイヤーが撤退して困らないよう、共存できる解決策を見出していきましょう

を昔
復活
して!
巡回
バス



運賃
が高
いバ
スの

事業者等	路線、運行区間等
北海道旅客鉄道 株式会社	室蘭本線、石勝線
あつまバス	苫小牧線、千歳線、遠浅線、安平循環線、追分線、沼ノ端線
デマンドバス	町内全域（早来エリア・追分エリア）
せいこドームバス	・せいこドーム今安平・追分方面 ・せいこドーム今遠浅・北町方面 ・追分高校通学バス（対象者限定）
早来ハイヤー 追分ハイヤー	町内等
その他（対象者限定）	・スクールバス、通園バス ・福祉バス（団体行事等）

安平町地域公共交通の現状と問題

上位・関連計画及び安平町の地域特性に加え、鉄道やバスの利用実態調査、地区別の意見交換会、住民アンケート等の結果から、その背景とともに4つに分類し、現状と問題を整理しました。

背景・考え方		現状・問題点
社会背景	公共交通を取り巻く環境	公共交通に対する認知度が低い ⇒ 存在は知っていても詳細を知らないために活用出来ない 2町合併による早来地区、追分地区を中心とする合併後の市街地形成 少子・高齢化の進展に伴う公共交通利用者の減少と維持費用負担 人口減少に伴う少年団・部活動の合同化 新たな地域資源（道の駅）が立地予定 全国的な高齢者による運転の増加 公共交通に対する重要度が高く、満足度が低い
安平町の交通特性	既存路線の効果的な運行	せいこドーム利用者への無料送迎バスの運行 あつまバスによる町内循環線を運行しているが利用者が少ない 利用者が少ない路線の存在 平成24年度まで運行していた無料循環バスの復活に対する根強いニーズ ⇒ 一方でハイヤーの撤退問題や公共交通としての位置付けの再認識
	デマンド交通の改善の必要性	デマンド交通による空白地域のない公共交通サービスの提供への取組み（旧循環線の代替え） デマンドバスとJR等の他の交通手段との接続がない デマンドバスの土日の運行がない デマンドバス利用手続きの負担（予約や取り消し等） デマンドバスの既存の乗降場所や利用者が少ない便の見直し ハイヤー事業との棲み分けの配慮 待合拠点の位置付けがない
	町外への交通	安平町外へ買い物・通院さらに通勤・通学のためにJRや都市間バスを利用する町民の存在 運転者自身の高齢化及び自動車による移動が困難となった場合のJRや都市間バスの利用ニーズがある 南千歳への接続便が少ない JR北海道の運営方針の変化

安平町地域公共交通の課題とその解決に向けた方向性

「公共交通を取り巻く環境」、「既存路線の効果的な運行」、「デマンド交通の改善の必要性」「近隣市町村との接続性」の4つのカテゴリーにて整理した問題・課題について、それぞれ解決へ向けた具体的な方向性を検討しました。

具体的な方向性	実現に向けた課題
時代背景を踏まえ、誰もが利用しやすい公共交通のあり方を構築	現状の公共交通に関するきめ細かい情報提供 新たな資源を結び、町民や町外の人の往来や回遊と交流を促す交通体系の整備 投資効果を最大化し、町民の納得性の高い効果的な公共交通体系の構築 時代背景（少子化等）に即した交通体系の整理 全国的な高齢者による事故の増加への対応 ⇒ “私たちの公共交通”意識の醸成 交通弱者に対する目的に合わせた適切な公共交通サービスの確保 町民の意見や生活行動に基づいた公共交通網の構築 公共交通利用促進に向けた取組み
公共交通のネットワークを強化し、移動利便性の向上を図る	目的外利用が出来ないせいこドームバスに対する、多目的利用への見直し 町民移動に合っていない運行ダイヤやルートが限られている町内循環線の見直しが必要 町内4地区の循環を支援する交通体系の検討 既存交通事業者（JR、ハイヤー等）に配慮した網形成が必要
交通空白地域のない公共交通を維持し、住民交流の活性化を実現	町内全ての交通手段を含む中でのデマンドバスの位置付けの再検討 ⇒特に郊外部の交通支援としての位置付けを意識 デマンドバスの予約方式における柔軟な対応 デマンドバスと他の交通手段との連携による移動支援 土曜日診療の移動手段の確保 滞留空間の創出による待合時間の有効利用 利用者の視点に立ったデマンドバス運行事業者への働きかけ
近隣市町村へのアクセスを強化し、流動の活発化を実現	JR路線の維持・確保を補完する交通体系の整理 空港や南千歳市への移動を確保するバスによる南千歳までのアクセス強化 交通弱者への情報提供

安平町地域公共交通網形成計画の基本的な考え方と基本方針

以上のような安平町の公共交通の問題・課題を踏まえて、地域公共交通網形成の基本的な考え方と基本方針を以下のように設定することを検討しています。

■基本的な考え方：

鉄路を中心としながら補完する循環系統、デマンドバス等の町内を運行する公共交通の位置付けを明確にし、併せて交通拠点の創出による地域公共交通網の利便性向上と町内の回遊・交流空間を促進する交通体系の構築を目指します。

●基本方針①：地域内循環系統の効率化

●基本方針②：デマンド交通の効率的運行

●基本方針③：利用促進策の検討

●基本方針④：町民協働による意識醸成

安平町地域公共交通網形成計画の施策メニュー

以上の4つの基本方針に基づいた具体的な施策メニューを設定しました。

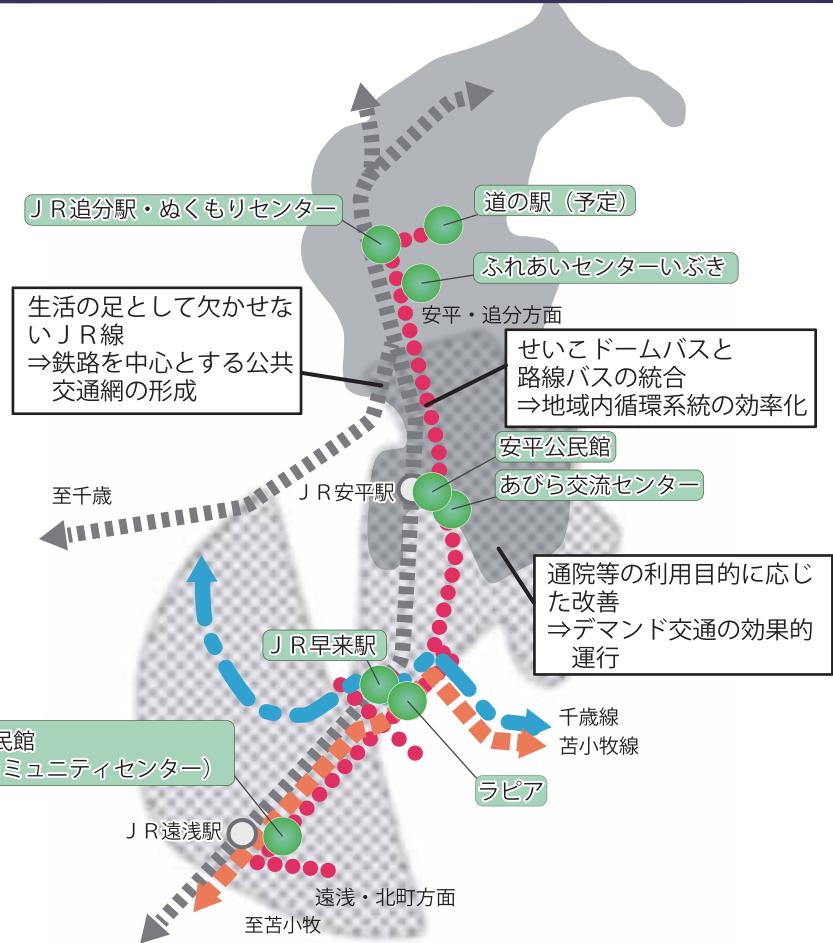
基本方針				施策メニュー
①	②	③	④	
		○		◎ My時刻表、総合時刻表、路線図の作成と提供
			○	◎ 乗継割引・買い物割引の検討
○				◎ 立地予定の道の駅など集客施設への立ち寄り（町内・町外からの回遊・交流促進）
		○	○	◎ 説明機会の創出、個別訪問の実施など、住民対話型による公共交通の検討 ⇒ 遠浅のデマンド一本化、デマンド区域の完全分離など、利用者の少ない地域や効率性に配慮した合意形成に基づく中長期的な検討
			○	◎ 部活動や少年団の利用に向けた働きかけ
			○	◎ ノーマイカーデー、イベントの検討
			○	◎ 高齢者運転への対応として免許返納時の期間限定割引サービスの検討
○	○			◎ あびらチャンネルによる情報発信 ⇒ 地域に応じたデマンドバスなどの情報発信・デマンドバスの子ども利用に係る情報発信
			○	◎ バス停や拠点の清掃活動など
○				◎ せいこドームバスの利用形態と便数の維持を基本とし、更なる効率化を図る
○				◎ せいこドームバスと町内循環線の統合による新バスの運行 ⇒ 連続する市街地に対する効率的な循環線の検討
○				◎ JRの運行ダイヤに配慮した補完型の循環線の運行 ⇒ JR空白時間帯を基本とする運行
	○			◎ 高齢者への通院支援 ⇒ 土曜日診療への対応検討 (平日の便数を減らして運行曜日を増やすなど中長期的に検討)
	○			◎ 病院の帰り時間の対応 ⇒ デマンドバスの病院の立ち寄り時間の明確化 ⇒ 病院側の診療時間やキャンセル対応の配慮
○	○			◎ 待合拠点の見直しを含めた町民が利用しやすいデマンドバスの実現 ⇒ 待合拠点（施設）利用に係る情報提供
○				◎ 町民目線の柔軟な対応 ⇒ 登録や予約に係る対応方針の再検討
○				◎ JRとの接続性を考慮したデマンドバスの運行
○		○		◎ 新バスと共にJRの維持・確保
○		○		◎ 新バスの導入によるコスト縮減から安平町一南千歳間のバスの増便を検討
		○		◎ 増加が見込まれる高齢者のための情報提供

将来の安平町における公共交通像

将来に向けた安平町の公共交通像については、通勤・通学で流動する近隣市町村との関係や安平町内の交通拠点へのアクセス性などを念頭に、町内外を繋ぐ鉄路を中心とした体系を描きました。

なお、バス等は鉄路との接続性や空白時間帯を考慮した公共交通網の形成を目指します。

凡 例	
J R 線	
都 市 バ ス	苦小牧線
	千歳線
安平循環線（新バス）	●●●●
区 域 マ ン ド	追分・安平市街地
	早来・遠浅市街地
地 域 拠 点	●



安平町地域公共交通網形成計画（素案）に関する ご意見を募集します（意見募集要項）

今号では、計画素案の概要をご紹介しました。今後は、皆さんからいただいたご意見を踏まえ、地域の公共交通のあり方について協議を行う「安平町地域公共交通会議」などにおいて、さらなる検討や整理を経て成案、計画策定へと作業を進めていきます。

- * 安平町地域公共交通網形成計画の素案全文及び詳細な意見募集要項は、安平町ホームページで閲覧できます。郵送も可能ですので、ご希望の方は担当課までご連絡ください。

担当課 安平町役場（早来庁舎）企画財政課企画グループ
 〒059-1595 安平町早来大町 95 番地
 電話：22-2751 ファクシミリ：22-3006
 電子メール：kikaku@town.abira.lg.jp

- * 意見の提出方法及び場所は、担当課への持参、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかにより提出してください。ご意見を正確に把握するため、住所・お名前・ご連絡先を必ず記載してください。お電話での意見受付はいたしません。
- * 意見募集の期限は、平成 29 年 2 月 20 日（月）17 時 15 分までとします。意見集約後、寄せられたご意見と町の考え方等については、安平町ホームページ等で公表します。

地域おこし協力隊着任

安平町の魅力をどんどん発信します！

平成29年1月1日付で、新たに2人の地域おこし協力隊が着任しました。

この2人は、知名度向上PR専門員として、まちのPR要素を見つけて「安平町に行ってみたい！」「安平町に住んでみたい！」と感じてもらえるような町外向けの映像や、地域の雰囲気が伝わるようなバラエティ要素を盛り込んだ番組を手掛けてもらう予定です。

それでは、新しく仲間となった2人を紹介します！

武田 増満（たけだ ますみつ）

あびらでの生活を楽しみながら、その魅力を届けたい！—3歳

なぜ安平町で

地域おこし協力隊を？

ル活用し、まちの魅力を発信していきたいです。



河合さんと同じく、勉強の日々です。

安平町での生活でまず感じたのは、自然がとても綺麗だということ。皆さんには見慣れてしまっているかもしぬませんが、晴れた夜の空に輝く無数の星には感動しました。冷え込んだ日に雪の上を歩くと「キュッキュッ」と雪が鳴る音も聞こえてきます。五感をフル活用して、さまざまな所に出没させてもらいます。

活動はどうですか？

前職は、映像を作る仕事をしていました。「身につけた技術を地域のために活かせられたら…」と思っていたところ、安平町での募集を知り「よし！」という思いでチャレンジしました。

着任して1か月

都市部での生活が長かったので、安平町のことは知らないことばかりです。そのため色々なことが目新しくて、そしてちょっと変わった視点から、安平町の魅力を発見できるかもしれません。その発見や感動を、多くの人に「良い」と感じてもらえる番組制作に取り組みたいと思っています。

これからの活動

どんなことをしたい？

今まで色々な地域に住んできましたが、安平町は素敵ないい町だと感じています。

今まで色々な地域に住んできましたが、安平町は素敵ないい町だと感じています。

四季を通じた美しい風景や

四季を通じた美しい風景や

河合 香織（かわい かおり）

四季の美しさや地域の情報を楽しく発信していきたい！—36歳

なぜ安平町で

地域おこし協力隊を？

平成25年に安平町の自然の美しさに惹かれて引っ越してきました。

まずは、自分自身が安平町と新しい出会いをたくさんしていきたいと思っています！まだまだ、分からぬことがあります。あつ！もし街中で見かけたら、「まつしー」と気軽に声をかけてください。

最後に一言

今後の意気込み！

まずは、自分自身が安平町と新しい出会いをたくさんしていきたいと思っています！まだまだ、分からぬことがあります。あつ！もし街中で見かけたら、「まつしー」と気軽に声をかけてください。

活動を通して一番感じたのは、町民の方々がとても温かいということ。まだ少しの方

と同行したり、編集技術を学び、日々技術の向上を図っています。

活動を通して一番感じたのは、町民の方々がとても温かいということ。まだ少しの方

と同行したり、編集技術を学び、日々技術の向上を図っています。

最後に一言

今後の意気込み！

地域おこし協力隊の「力オリン」として、皆さんに顔と名前を覚えてもらえるように、色々な所に出没させてもらいます。町民の方と一緒につなげて楽しみながら地域をおこせるよう頑張っていきますので、よろしくお願いします。



1月のできごと

今年の初セリは

1月11、12日にホクレン南北道家畜市場で肉牛の初競りが行われ、道内各地から1700頭を超える肉牛が集まりました。

町内からは20戸の生産者が出品し、36頭が取引成立。町内産肉牛の評価は高く、黒毛和種（去勢）の取引平均額は94万6865円と昨年よりも10万円程の高値が付き、幸先の良い滑り出し�となりました。



防災意識の向上に

胆振東部消防組合が主催した防火・防災作品コンクールにおいて、追分中学校2年生の大橋里穂さんと富塚芽生さんのポスターが入賞、18日、胆振東部消防組合消防本部藤原一消防長より賞状と記念品が贈呈されました。

藤原消防長は、「日頃から防火・防災について考えてくれている作品で嬉しかった」と2名の受賞をお祝いしました。



だじやれ飛び交う講演会

22日、追分公民館で安平町

合併10周年記念事業「伊奈かつぱい講演会」が行われ、町内外から240名の聴衆が

集まりました。

津軽弁を駆使した独特な語り口とだじやれで笑いを誘うと、会場が沸き上がり、あつという間の85分となりました。

※前日に安平町入りした伊奈かつぱいさんを密着取材しました。その様子を現在あびらチャンネルで放送中です。



38年間ありがとう

28日、追分公民館で安平町

立追分幼稚園閉園記念式典

が行われ、閉園を惜しむ卒園児や園関係者など多くの方々が参列しました。

昭和54年、追分地区の幼稚教育の要として設立され、これまで879名もの卒園児を送り出してきた追分幼稚園。3月をもって、38年という長い月日に終止符を打つこととなります。

式典は、豊島教育長による閉園宣言に続き、瀧町長の式辞や来賓あいさつの後、幼稚園運営に深く関わってきた方



お別れの言葉を述べる
米村園長



終盤、卒園児で和太鼓奏者しんたさんの演奏や在園児らによる歌の披露が行われ、式典に花を添えました。

祝 平成29年安平町成人式



瀧町長から記念品贈呈



1月8日に行われた安平町成人式。

町内には122名の新成人が誕生しました。会場は、華やかな振り袖をまとった淑女とスーツをピシッと着こなした紳士が揃う中、その見た目とかけ離れた様子で旧友との再会を喜んでいました。

20歳。育ててくれた両親に感謝し、恩師の言葉も身にしみる年頃となりました。

そんな、成人式でのひとコマをご覧ください。

ホラ、あそこにいるよ



教え子にエールを送る
元早来中教諭の喜間篤氏



感動の表情 その先は？



粘り強い成年人に…

あびら回顧録～平成19年2月号

主なできごと 安平消防署職員が早来中学校へ会合（紙面から） 格祈願の絵馬を寄贈

人口と世帯 平成19年1月末 9,298人
4,223世帯



広報 2007.2 No.11
あびら

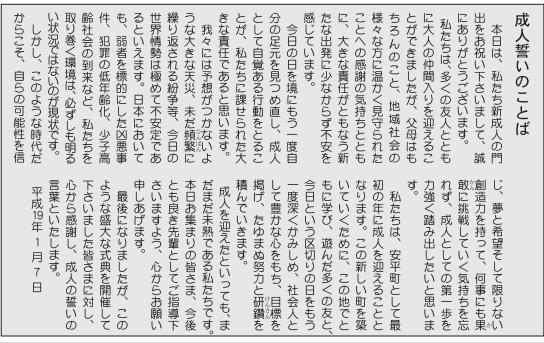
広報あびら平成19年2月号は、新成人の晴れ晴れしい笑顔が表紙を飾りました。
かくいう、彼らも今や30歳。
当時の元気は今も健在でしょうか…。



進級中時代の担任だった吉川栄先生(写真左から3人目)と
伊藤(写真右から3人目)班の先生(向4人目)



晴れ姿の新成人



成人のことば
本日は、私が新成人の門
出をお祝い下さるまじめで、誠
にありがとうございます。私は多く
の友人ともじめに大人の仲間へと
よがりました。各家庭
からの手立て、地域社会の
多くの力の温かい援護を受けた
ことへの感謝の気持ちといた
じで、大きな年齢となり新
た人生には多少の心配不安
感をしてしまいます。
今日の式典は、必ずしも、成
人の年齢に該する新しく前段階
から持続してきましたが、この新しい
力強く踏み出したいと思って
います。私は、安平町といつ
も豊かな心で、社会人として
して豊かな心で、田舎で研鑽を
なっております。これからは、社会で
お仕事しておられます。
私たちには予想つかないよ
うな大きな出来事、未だ頻繁に
繰り返される鈍感等、今の
世界情勢は極めて不安定であ
るといえます。日本において
ち、弱者の尊厳を守るた
めに、強制的同化を拒んでいた
難民の到来など、私たちの
取り巻く環境は、毎日が明る
世界情勢は極めて不安定であ
るといえます。日本において
物の価値を肯定した凶悪事
件、犯罪の大規模化、開拓と
社会との到来など、私たちの
現状といえます。
しかし、もう少しうなづか
かげの可能性を感じ

おおぞら新聞に対する私の意見
は、まだ未熟である私ですが、今後
とも良き先輩として指導して
おいでください。心からお願い
申します。

最後になほしまだが、心から感謝
の言葉といたします。成人の喜びの
言葉といたします。成人の喜びの
言葉といたします。成人の喜びの

9

右ページにある今年の成人式会場も、旧友や恩師との再会に笑顔と笑い声が響き渡りました。これまで一度もクラス会をしていないと思った方は、ぜひ集まる機会を設けてみては？ 20年以上の間が空いている場合は、同級生だけ？と思うほど見違えてしまっているかも。



ABIRA CHANNEL

安平町で活躍する人を取材する

あびらでつながり隊！

～人から人へつなげるバトン～

レポーター：山田由美子
カメラマン：小林 誠

問合せ 総務課情報グループ ☎ 2511



下出さんの熟練の手さばきに見とれる山田レポーター

今回は、下出公司さんが桜餅とうぐいす餅を作る現場を撮影しました。作業場に入ると黙々と進めていく職人の姿。素早く慣れ

な構成で放送させていただきましたが、ご覧になつていただけましたか？

今年も、町内の色々な方の所へお話を伺いに行こうと思います！最初の取材先となつたのは下出菓子舗さんです。

熟練の技に驚き

放送では、レポーター山田とカメラマン小林が、撮影時を振り返りながら放送を進めしていく、総集編といったような構成で放送させていただきましたが、ご覧になつていただけましたか？

「あびらでつながり隊！」1月の放送では、2016年に撮影した全6回の放送を前編・後編に分けて放送しました。

放送では、レポーター山田とカメラマン小林が、撮影時を振り返りながら放送を進めしていく、総集編といったような構成で放送させていただきましたが、ご覧になつていただけましたか？

今年も、町内の色々な方の所へお話を伺いに行こうと思ひます！最初の取材先となつたのは下出菓子舗さんです。

下出さんの熟練の手さばきで、一つひとつ同じ大きさや形を作り出していきました。できあがる和菓子はとても綺麗で、彩りや香りから春を感じることができました。

和菓子作りに挑戦

下出さんのご厚意で、桜餅とうぐいす餅を作らせていました。下出さんを真似て素早く手を動かすも、全く

和菓子なのか、あにぎりなのか
山田レポーターの手さばきにも注目！？

伝えたい思い

た手さばきで、一つひとつ同じ大きさや形を作り出していきました。できあがる和菓子はとても綺麗で、彩りや香りから春を感じることができました。

下出さんとお話しをする中で、地域にちなんだ和菓子を手がけたり、安平町産の素材を用いるなど、安平町への愛を感じることができました。このような下出さんの思いを、映像を見て感じてもらえばと思ひます。

撮影終了後のインタビューでは、下出さんが和菓子作りを始めた経緯やここまで続けてこれた思いなど、様々なお話を伺うことができました。

地域にちんだ和菓子を手がけたり、安平町産の素材を用いるなど、安平町への愛を感じることができます。このような下出さんの思いを、映像を見て感じてもらえばと思ひます。



貴重なお話もお伺いできました！

放送予定
2月1日(水)～28日(火)あびらでつながり隊！
第7話

YouTubeで動画配信中！

「あびらでつながり隊！」はもちろん、町内のできごとやPR動画などをYouTubeでご覧いただくことができます。

＜視聴方法＞

YouTubeの検索タブに「安平町」と入力し検索するか、右のQRコードを読み込んでいただくとご覧いただけます。



受信対策工事受付中

町では、遠浅・追分市街地にお住まいの方で、あびらチャンネルが視聴できないという方を対象に「エリア放送受信対策工事」を行っています。

工事の申請方法などは、総務課情報グループまでお問い合わせください。

※エリア拡大に合わせ安平・早来地区で試験電波を発射中です。映像の乱れなどがある場合はご連絡ください。

安平町施設巡り

Vol. 10

追分公民館

町内にある公共施設を紹介している安平町施設巡り。今月号は、追分公民館を紹介します。

追分公民館は、生涯学習の推進の場として平成5年3月に建設され、講演会や研修会、また、サークル活動の拠点として年間多くの方が来館しています。

追分公民館はこんな施設です！

集会室では大きなイベントも！

最大で500人が収容できる集会室では、昨年の合併10周年記念事業の会場となつたほか、成人式や芸能発表会、文化祭の作品展示会場として利用され、町民の日頃の活動を披露する場としてもご利用いただいでいます。



サークル・団体活動の拠点！

町内で活動する多くのサークルや団体が定期的に利用し、また催事などにも開放されています。

館内には様々な部屋があり、調理実習室では料理教室、和室では手芸サークルやお茶会などで町民の皆さんご利用しています。

もしものときには・・・

災害が発生または発生する恐れがあり自宅から避難が必要となった場合、追分公民館は避難所として地域住民の方々を受け入れる場となっています。

また、館内等で急病者が発生した場合に備えて自動体外式除細動器（AED）を設置しています。

開館時間、休館日、その他

開館時間	9時～22時 ※状況によって変動あり
休館日	毎週月曜日、12月29日～1月3日
その他	<p>使用について</p> <p>追分公民館内の各部屋は、どなたでも使用できます。</p> <p>使用目的や内容によっては使用料が免除される場合などもありますので、詳細は教育委員会社会教育グループまでお問い合わせください。</p> <p>※内容によっては、使用できない場合もありますので、事前にご確認ください。</p>

追分公民館

場所 追分緑が丘200番地2
問合せ ☎ 2083（安平町教育委員会）

ゆったり過ごせるロビー！

玄関を入るとすぐに開けたロビーがあります。このスペースではコンサートや季節に応じた展示物が設けられたりと、来館者を楽しませてくれます。

ロビーの一角にはソファーとテレビが設置されており、こちらでは當時あべらチャンネルを放送中です。



こんにちは

保健師です

(文・田畠喜美保健師)

1月号に続き介護保険の視点から生活習慣病についてお話しします。

今月は「脳血管疾患と生活习惯病」です。

脳血管疾患と要介護認定

1月号でもお話ししたとおり、平成27年度に新たに要介護認定を受けた方の主病原因疾患第3位の脳血管疾患ですが、要介護認定を受けた方のうち、介護度別人数をみると、

【表1】

	疾患名	人数
1位	認知症	16 (1)
2位	骨折	13 (1)
3位	脳血管疾患	12 (2)
3位	筋・骨格 (関節症や骨粗しょう症など)	12 (1)

※()は、第2号被保険者数

【表2】平成27年度区分変更が必要となった疾患別の順位

順位	疾患名	人数
1位	認知症	7名
2位	脳血管疾患	6名
	転倒骨折	6名
3位	高血圧	4名
	その他	17名
	計	40名

の原因とされる



また、脳血栓



初めての認定で重度の「要介護4・5」の判定を受けた方が3名。また、認定期間中に心身の状態が変化し、要介護度の区分変更が必要となる方も、脳血管疾患者に多く診られます（表2参照）。このようない要介護認定の結果から、脳血管疾患は、一度発症すると初期の段階で重度になる方や闘病中に状態が悪化してしまう方がいることがわかります。

注意したいことは、こまめな水分補給です。からだが脱水傾向にあるとき、血液は濃縮されてドロドロになり、固まりやすくなります。つまり、脳血栓による脳梗塞が起きやすくなるのです。

65歳を過ぎると、からだの水分が少なくなつても喉の渇きをあまり感じないことがあります。「夜中にトイレに行くのが面倒」などの理由で水分補給を控えているという声を聞くことがあります。脳血管疾患予防のために就寝前や夜中にトイレに起きた時など、コップに3分の1から半分程度の水を飲むようにしましょう。

発症予防と重症化予防

脳血管疾患の中でも65歳以上に多い脳梗塞は、脳の血管の中で血栓や塞栓が血流を止めてしまうのが原因です。脳梗塞の予防には、血栓ができるくくしておくこと、「血液サラサラ」の状態が良いわけです。

発症した時には重度の要介護度がつくこともある脳血管疾患ですが、水分補給や日頃からの生活習慣を見直すことでも一度発症してもこれまで変わらず元気に暮らしている人もいます。

簡単な運動で予防しましよう

《グー・パー運動》

【基本動作】「グー・パー」と言いながら手を握ったり開いたりする。（4回繰り返す）

【応用】

- ①「グー」と言いながら両手を握り、胸の横に構える。
- ②「パー」と言いながら両手を開いて、胸の高さで前に出す。（4回繰り返す）

《パタパタ・トントン運動》

【基本動作】片足ずつ8回行いましょう。

- ①かかとを床につけたまま、つま先を上げ「パタ」と言いながらつま先を下ろす。
- ②つま先を床につけたまま、かかとを上げ「トン」と言いながらかかとを下ろす。

【応用】

- 基本動作の①と②を両足で行う。
(4回を1セットとし、2セット行う。)
※左右の足を交互に行っても良い。



体を使った運動は、血管を使つた運動は、血管を若返らせる効果が期待できま

すので、ご自宅でお好きな時間にやってみましょう。

動脈硬化の予防には、その危険因子である高血圧や高脂血症、糖尿病などをきちんと治療すること、そして禁煙が必要です。

要介護度がつくこともある脳血管疾患ですが、水分補給や日頃からの生活習慣を見直すことでも一度発症してもこれまでと変わらず元気に暮らしている人もいます。

発症した時には重度の要介護度がつくこともある脳血管疾患ですが、水分補給や日頃からの生活習慣を見直すことでも一度発症してもこれまでと変わらず元気に暮らしている人もいます。

発症した時には重度の要介護度がつくこともある脳血管疾患ですが、水分補給や日頃からの生活習慣を見直すことでも一度発症してもこれまでと変わらず元気に暮らしている人もいます。

追分高校です63



し、お馴染みの「ジングルベル」「星に願いを」など、計9曲のクリスマスマスソングをハンドベルの演奏で披露。ギター演奏も交えて「赤鼻のトナカイ」など会場の皆さんで歌いました。本番はやや緊張気味でしたが、司会進行など生徒会の協力もあって、コンサートは大いに盛り上がり、クリスマスイブにふさわしい素敵なひとときを過ごすことができました。

音楽隊がJR追分駅でクリスマスミニコンサート

12月24日13時よりJR追分駅にて、本校の音楽部9名によるクリスマスミニコンサートが開催されました。駅構内のスペースをお借りしての企画でしたが、あいらチャンネルや北海道新聞社、苫小牧民報社の取材が入るほど注目していました。町民の皆さんなど約40人の前でクリスマスソングを奏でました。音楽部は毎日一生懸命練習して、この日のためにしっかりと準備を



↑JR追分駅でのクリスマスミニコンサート

町民の方からは「追高の皆さんは本当に素晴らしいですね」とお褒めの言葉もいただきました。部員たちは今後の音楽活動に意欲を燃やしています。演奏の場を提供していただいたJR追分駅の皆様には大変感謝しております。紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

12月24日13時よりJR追分駅にて、本校の音楽部9名によるクリスマスミニコンサートが開催されました。駅構内のスペースをお借りしての企画でしたが、あいらチャンネルや北海道新聞社、苫小牧民報社の取材が入るほど注目していました。町民の皆さんなど約40人の前でクリスマスソングを奏でました。音楽部は毎日一生懸命練習して、この日のためにしっかりと準備を

し、お馴染みの「ジングルベル」「星に願いを」など、計9曲のクリスマスマスソングをハンドベルの演奏で披露。ギター演奏も交えて「赤鼻のトナカイ」など会場の皆さんで歌いました。本番はやや緊張気味でしたが、司会進行など生徒会の協力もあって、コンサートは大いに盛り上がり、クリスマスイブにふさわしい素敵なひとときを過ごすこと

1年生が大活躍

体育大会

あいら子ども寺子屋「追分子ども朝活」に参加

12月21日に体育大会が実施されました。

生徒会が中心となつて、種目の決定や細かいルールなど時間をかけて検討してきた冬の企画。体育大会は熱気に溢れ、クラスの絆を高める素晴らしい行事になりました。クラス対抗バ

スケットボール、バレーボールの他に、玉入れと綱引きが行われました。追高生は冬の寒さにも負けず、各クラス熱いプレーの連続でした！

高校生活も残り少ない3年生はパワーで綱引きを、1年生は小技で玉入れをしました。2年生はすべての競技で善戦するものの、僅差で敗れるツキの無さもあり、なんと平均的にボイントを重ねた1年生が全体優勝をさらいました！



↑チューブ滑りを体験

1月11から13日にボランティア同好会を中心とした有志生徒8名が、追分小学校で行われた「子ども朝活」のお手伝いをしてきました。冬休みにしかできない内容も組み込まれ、追高生は運動や体験プログラムに参加。

小学生と一緒に「あそび会議」にて内容を検討し、ソリやチューブ滑り、雪中ドッジボールや雪中ビー・チフラッジなどを行いました。

1月11日 第63回卒業証書授与式

▼2月の行事予定

3月1日 第63回卒業証書授

▶皆さんのご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX 2555)

〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地
ホームページで「追校の今」をご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高=一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高=一人ひとりを伸ばせる学校

広報

安平町の広報紙は モニターの声を参考にしています！

こんな意見をいただきました！

行政用語や新しいカタカナ語は
あまり使わないで欲しい

行政から発信する情報には聞いたことも無いような用語やカタカナへの対応についても意見がありました。

この意見の対応策として、編集時に理解しやすい言葉へ置き換えたり、注釈を付けるなどし、紙面作りの参考とさせていただきました。

連載記事（企画）の力ギは 町民が知りたいこと

町内の公共施設は、誰でも利用できるのか、どこに問い合わせればいいのかもわからない。広報で紹介することはできませんか？

この要望にお答えし、平成28年5月号から公共施設を紹介する「安平町施設巡り」の連載を始め、休館日や開館時間、問合せ先などを明記しているほか、施設によっては2回に分けて紹介するなどの工夫をしています。

まちのカレンダーについて検討

広報あびらと一緒に作成・発行している「まちのカレンダー」について、町側より広報モニターに意見を求めました。

行事予定やごみ収集日は、データ放送（あびらチャンネル）、安平町衛生推進協議会が発行する「家庭ごみ収集日確認カレンダー」で知ることができるようになり、まちのカレンダーの役割を終えたと判断したためです。

カレンダーの廃止は広報モニターの意見だけでなく、広報を通じて活用方法を募集した意見も踏まえ、コストの削減に繋がる利点も考慮し、発行を終了することとしました。

月2回発行している広報紙は、町内でのことやお知らせなど様々な情報を掲載し、皆さんへお知らせしています。その広報紙は、行政主体だけで作成されているわけではなく、広報モニターとして活動していただいている町民の協力があります。

広報モニターの皆さんとの打ち合わせ会では、「広報紙をより読みやすいものにするための意見交換」を行い、いたいた意見や提言を参考に紙面の改善に努めています。紙面のどこが、どのように改善されたのか。現在の広報モニターからいただいた意見や打ち合わせ会で提起した課題などを紹介します。

◆広報モニターってなに？

広報モニターとは、町が行う広報活動について考え、より良いものとしていくため、打合せに参加し意見を伝えてくれる方々のことです。



広報モニターを
募集します！

町では、4月1日から広報モニターとして活動していただけの方を募集します。広報紙を見て「もう少しレニアウトが変わればより読みやすくなる」「こんな連載記事があれば翌月号が来るのが楽しみになる」なんて思ったりする方！

ぜひ、一緒に広報紙作りをしていきませんか？

対象 20歳以上の町民の方
任期 平成29年4月1日～平成31年3月31日

人数 5人

活動内容 年3、4回の広報

モニター打ち合わせ会への参加、所定の様式による意見の提出

応募方法 左記にお問い合わせください。

その他 報酬はありませんが、打ち合わせ会に出席した際の交通費を支給します。

問い合わせ 総務課情報グループ

平成二十九年

安平消防出初式

制服に身を包んだ職員と団員、緊急車両による分列行進より始まつた新春の恒例行事「出初式」が1月7日、町民センターで行われました。式典では、火災や事故などの救急事態に備え、日ごろから献身的に訓練に精進している消防職員・団員の皆さんに、その功績と功労を称えた各種表彰の伝達も行われました。

各種表彰・受章者

北海道知事表彰

30年勤続章	分団長 末平正幸
20年勤続章	部長 永田智康
班長 鈴木悟	阿部徹
班長 中西拡幸	阿部徹
班長 井森潤一	阿部徹
班長 久米守	阿部徹

日本消防協会表彰

30年勤続章	部長 永田智康
功績章	土田和明
功績章	井森潤一

北海道消防協会表彰

30年勤続章	分団長 末平正幸
20年勤続章	班長 野尻俊和
20年勤続章	班長 佐藤慶徳
20年勤続章	班長 赤坂尚寛

優秀団員
班長 高林孝行
消防司令補 川村雅都
白崎大輔

優秀職員
消防司令補 川村雅都
白崎大輔
胆振東部消防組合管理者表彰

功勞章
分団長 末平正幸
功績章
部長 阿部徹
功績章
分団長 末平正幸
功勞章
部長 阿部徹
功績章
分団長 末平正幸

東部消防連絡協議会表彰

30年勤続章	分団長 末平正幸
30年勤続章	班長 野尻俊和
10年勤続章	團員 瀧本哲也

下記に平成28年中に緊急出場した件数等をまとめました。
※以上、敬称略

安平支署

火災	
件数	4 件
焼損床面積	180 m ²
損害額	442 千円

救急・救助			
出場順位	事故種別	出場件数(搬送人員)	不搬送件数
1位	急病	152 (129)	23
2位	一般負傷	48 (42)	6
3位	転院搬送	19 (19)	0
4位	交通	13 (15)	2
	労働災害	13 (13)	0
6位	運動競技	1 (1)	0
	自損行為	1 (1)	0
合計		247 (220)	31

追分出張所

火災	
件数	1 件
焼損床面積	496.377 m ²
損害額	27,683 千円

救急・救助			
出場順位	事故種別	出場件数(搬送人員)	不搬送件数
1位	急病	92 (84)	8
2位	一般負傷	27 (25)	2
3位	転院搬送	25 (24)	1
4位	交通	6 (10)	0
5位	運動競技	1 (1)	0
	加害	1 (1)	0
合計		152 (145)	11

平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日

■■■国民年金からのお知らせ■■■

国民年金 こんなときは届け出が必要です

就職、退職、結婚などによって加入者の種類が変わることがあります。届け出をしなかったために将来年金が受けられなくなる場合がありますので、次の届け出は忘れずに行いましょう。

加入者の種類

20歳になると、日本国内に住所のある方すべてが国民年金に加入しなければなりません。

加入者は、保険料の納付方法や給付方法が異なっているため、3種類に分類されます。

第1号被保険者	自営業者、農林漁業者、無職、自由業者などの方とその配偶者、学生
第2号被保険者	厚生年金加入者、共済組合員、船員
第3号被保険者	会社員などの第2号被保険者（厚生年金・共済組合の被保険者）に扶養されている配偶者

20歳になったとき

すでに厚生年金（共済組合）に加入している方をのぞき20歳になったら国民年金に加入することとなりますので手続きが必要です。



なお、学生納付特例制度（一部対象とならない学校があります）を希望される方は同時に申請をしてください。

会社に就職したとき

厚生年金（共済組合）に加入する手続きは、勤務先の事業所を通じて行います。被扶養配偶者がいる場合も勤務先の事業所を通じて国民年金第3号被保険者への手続きが必要です。



会社を退職したとき

厚生年金（共済組合）に加入していた方が60歳前に退職したときは、役場窓口で国民年金第1号被保険者への変更の手続きが必要です。扶養する配偶者（第3号被保険者）がいる場合は、併せて配偶者の国民年金第3号被保険者から第1号被保険者への種別変更の手続きが必要です。



被扶養配偶者でなくなったとき

本人の収入が増えて扶養からはずれたり、配偶者が定年退職したときは、役場窓口で国民年金第3号被保険者から第1号被保険者への種別変更の手続きをしてください。



厚生年金（共済組合）に加入している方が65歳（年金受給者）になったとき

60歳未満の被扶養配偶者は役場で第3号被保険者から第1号被保険者への種別変更の手続きをしてください。



結婚などにより、厚生年金などに加入している夫（妻）の扶養になったとき

配偶者の勤務先の事業所を通じて、国民年金第3号被保険者の手続きをしてください。



届け出・問合せ

住民生活課住民サービスグループ ☎②2940
健康福祉課住民サービスグループ ☎②2411

屋根から落ちる 雪や氷に 気をつけて！



例年2月は気温の寒暖差が大きくなるため、氷のようになった屋根の雪が落ちて下敷きとなったり、屋根の雪下ろし作業中に転落するなどして、大きな怪我を負ったり、尊い命を落としてしまうなどの事故が発生しています。

特に今季は、湿った雪が多いため、屋根の雪は大きなかたまりとなっている場合があります。屋根のこう配が歩車道側に向いている建物の付近は、歩行者等にとって大変危険です。

落氷雪や雪下ろし作業中の事故を防ぐためにも、次のことに注意しましょう。



屋根の雪・つららを早めに下ろしましょう

落氷雪事故は、気温がマイナス3度からプラス3度程度の状況で発生しやすいという特徴があります。道路に面した屋根の雪や窓枠などの付着したつららを常に点検して、早めに下ろしましょう。

また、雪下ろしの作業は1人で行わず、見張りを置くなど軒下の歩行者や遊んでいる子どもに注意しましょう。

子どもを落氷雪の危険がある場所で遊ばせないようにならしめましょう

屋根などからの落氷雪の危険がある場所では、子どもを遊ばせないようにしましょう。もし、遊んでいる子どもを見かけたときは声を掛けて注意しましょう。



危険な軒下は通らないようにしならしめましょう

落氷雪の危険がある軒下などは通らないようにしましょう。

雪下ろしは転落防止用のロープなどを着用して行いましょう

雪下ろしの作業中に、雪とともに屋根から転落する事故が発生しています。雪下ろしをするときは、転落防止用のロープなどを確実に着用するなど、転落防止の対策をとりましょう。

《安平町指定給水装置工事事業者（町内事業者）の休止について》

安平町指定給水装置工事事業者である株森本組（追分花園）が、1月10日より給水装置工事の事業休止となりましたのでお知らせします。

【安平町指定給水装置工事事業者について】安平町は給水装置工事の事業を行うものの申請に基づき、給水装置工事事業者の指定を行っています。

宅地内の漏水や給水管の凍結など給水装置の工事・修繕の際には、安平町の指定給水装置工事事業者へご依頼ください。

平成 28 年分

確定申告が始まります

【申告期間】

2月 16 日(木)～3月 15 日(水)

案内が来ない方の申告

※国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で、作成した申告書を印刷して提出することもできます。

案内が来なくても、左記のような場合は申告が必要です。

①生命保険金の満期や解約など、一時的な収入を得た方

②土地・建物などを売却した方

③医療費控除や寄附金控除(ふるさと納税「ワンストップ特例」に該当しない方)など、各種控除の適用を受けたい方

④居宅の取得による借入金等控除の適用を受けたい方

（給与や公的年金など）

- ・社会保険料等控除証明書
(国民年金保険料など)
- ・保険料控除証明書
(生命・医療介護・個人年金・地震などの任意保険)
- ・源泉徴収票
(給与や公的年金など)

申告に必要なもの

- ・寄附金控除証明書
- ・医療費の領収書
- ・※火災保険は、原則除く（病院の自己負担など）
- ※10万円を超える場合も控除が適用される場合があります。

申告が必要な方へのご案内方法

「役場」から案内ハガキをおかれています。

送りします。

また、昨年確定申告をした方には、「税務署」からも案内が送付されます。

送付されなくとも、役場で用意していますので、お申し付けください。

収入のない方

公的年金等の収入が
400万円以下の方

（公的年金等以外の所得が20万円以下の方は、原則確定申告は不要です。）

ただし、公的年金等の源泉徴収票に記載のない控除の適用を受けたい方など、源泉所得の還付を受けたい場合は申告が必要です。

（還付を受ける場合のみ）
▼このほかに、収入がある場合や控除の適用を受けたい場合は、これらを証する書類をお持ちください。

- ・印鑑
- ・金融機関の口座番号

- ・源泉徴収票
- （還付を受ける場合のみ）
- ・印鑑
- ・金融機関の口座番号

（役場）から案内ハガキをおかれています。

収入が0円であつても、そ

の旨を申告する必要がありま

す。

申告がないと正確な計算が

できず、国民健康保険税など各種料（税）金が割高になる、各種公的制度が利用できなくなるなどの不都合が生じる場

合があります。

確定申告の時期が迫つてきました。
次の事項を参考にご準備を進めていただき、期間中にすみますようお願いします。

「申告が必要かどうかがわからぬ」という方は、ご相談ください。

追分地区の方【申告日一覧】

月　日	割当地区　など
2月 16 日(木)	花園地区 1～2丁目
2月 17 日(金)	花園地区 3～4丁目
2月 20 日(月)	若草地区 1～2丁目
2月 21 日(火)	若草地区 3丁目
2月 22 日(水)	柏が丘・緑が丘
2月 23 日(木)	青葉地区
2月 24 日(金)	白樺地区
2月 27 日(月)	本町地区 1～4丁目
2月 28 日(火)	本町地区 5～7丁目
3月 1 日(水)	中央地区、その他指定日に来られない方
3月 2 日(木)～ 15 日(水) (土日を除く。)	農業所得の方

▶申告会場◀

【早来地区】

会　場：保健センター 2階（早来庁舎横）

受付時間：9時～17時

申告日：事業所得や不動産所得のある方のみ、
目安の日時をハガキでご案内します。

【追分地区】

会　場：ぬくもりセンター多目的情報会議室

受付時間：9時～17時

申告日：左表のとおり、目安の日程を地区毎に
分けています。

苦小牧税務署は、下記会場で申告を受付けます。

会　場：苦小牧市労働福祉センター

（末広町1丁目15番7号）

開設期間：2月 16 日(木)～3月 15 日(水)までの平日

開設時間：9時～17時（受付終了：16時）

※税務署内では、受け付けていません。

お知らせ

安平町営農懇談会を開催します

2月	時間	会場	対象地区
20日 (月)	10時～	明春辺会館	西追分、豊栄、明春辺
	14時～	農村文化センター	旭陽、美園
22日 (水)	10時～	安平公民館	瑞穂、緑丘、安平、守田、早来、北進
	14時～	遠浅公民館	新栄、源武、東遠浅、酪農、富岡

※地区にこだわらず、ご都合に合わせてお越しください。

町内の全農業者を対象に、や農政に対する意見交換等を行なう営農懇談会を開催します。単独補助事業等（緑肥、廃プラス、就農等）、その他農林課農政・畜産グループ

日時・会場 左表のとおり問合せ 農林課農政・畜産グループ

日時・会場 ②2515

平成29年度事業等の概要説明や農政に対する意見交換等を行なう営農懇談会を開催します。

内容 国費事業等の状況 町内

追分地区児童福祉複合施設を見学しませんか

のうえ、関係書類をお取り寄せください。

所または団体 員会事務局までお問い合わせ

時間・料金

・前夜祭（7月1日土）
12時～21時 10,000円

・本祭（7月2日日）
9時～15時 9,000円

区画 3.6m×5.4m

※ただし、少年団・同好会等は右記の金額の3分の1

留意事項

※時間内は自由に見学ができます。

場所 追分地区児童福祉複合施設（旧追分庁舎 6丁目54番地）

問合せ 教育委員会子育て支援グループ

②2083

・出店者の方は、前日のテンント設営、翌日の清掃活動にご参加いただきます。

・保健所の営業許可が必要とする業種の方は、申請手数料が発生します。

・出店に当たり、代表者の身分証明書（免許証、保険証等）、顔写真及びまつり当日に従事する方全員の名簿が必要。

・会場内で出たゴミは、各自処理すること。

トは、制限数内で貸出可。

募集店数 2店舗程度

募集締切 3月13日（月）

問合せ 実行委員会事務局（役場まちづくり推進課内）

②2514

赤ちゃんダイアリー・子育て節約術の投稿受付中です

赤ちゃんダイアリー・子育て節約術の投稿受付中です

赤ちゃんダイアリーでは、我が子が赤ちゃんだった頃の写真とお父さんお母さんのエピソードなどのページです。赤ちゃんダイアリーと「子育て節約術」の投稿受付が始まっています。

子育て節約術は、育児しながら楽しく節約できる術を実践していた節約術をお待ちしています。

庭で実践中、また子育て中に実践していた節約術をお待ちしています。

先輩お父さんお母さんに教えていただきページです。ご家庭で実践中、また子育て中に実践していた節約術をお待ちしています。

左記のQRコードをご利用ください。

投稿方法 ◇子育て節約術を「赤ちゃんダイアリー」

◇赤ちゃんダイアリー

あなたの悩みに



すべての相談の相談料が
無料になりました。

相談予約
ダイヤル

0144-35-8373
平日 10:00～16:00(12:00～13:00を除く)
土曜 10:00～13:00

札幌弁護士会 苛小牧法律相談センター

あびら夏！うまかまつり実行委員会では、7月に開催される「第9回あびら夏！うまかまつり」の出店者を次のとおり募集します。

出店を希望される事業所、団体等の代表の方は、実行委員会事務局までお問い合わせ

うまかまつり出店者を一般公募します

あびら夏！うまかまつり実行委員会では、7月に開催される「第9回あびら夏！うまかまつり」の出店者を次のとおり募集します。

出店を希望される事業所、団体等の代表の方は、実行委員会事務局までお問い合わせ

問合せ

総務課情報グループ



問合せ

総務課情報グループ



NPO法人 ココ・カラ
ココロもカラダも幸せな時間

問合せ先
FAX: 0145-23-2474 (内線)
電話: 090-6261-7994 (前田)
メール: nopo.cococala@gmail.com

味噌作り講習会のご案内

安平町産の大豆と米麹を使った味噌作りを行います。自分の手で作る手前味噌を味わってみませんか？ 各人作る量により参加費が異なります。下記の日程以外を希望される方は別途調整致します。ご相談ください。

日 時：2月 8日（水）12日（日）22日（水）26日（日）
10:00～15:00

場 所：安平町農産物加工研究センター（安平町追分美園161-1）
参加費：500円+味噌1kgにつき450円かかります

広告欄

広告欄

新しい総合計画の策定に向けて～町民と行政の協働で描く ABIRA の未来

第 2 次安平町総合計画（案）に係る町民説明会を開催します

広報笑顔（スマイル）1月号でご案内をしていますが、次の日程で第2次安平町総合計画（案）に係る町民説明会を開催しますので、ご都合の良い会場へお越しください。

問合せ 企画財政課企画グループ☎②2751

月日・時間	会場
2月 10 日(金) 18 時 30 分～	追分公民館 中ホール
2月 14 日(火) 18 時 30 分～	市民センター 集会室
2月 15 日(水) 18 時 30 分～	遠浅公民館 研修室
2月 16 日(木) 18 時 30 分～	安平公民館 大集会室



町では、平成28年度をもって終了する現在の総合計画にかわる新しい総合計画の策定に向けて、安平町未来創生委員会、あびら夢・未来100人市民フォーラム、まちづくり市民アンケート、各種団体に対するヒアリング、市民まちづくり会議などを通じ、多くの市民の皆さんに参画をいたしました。

多くのご意見をもとに計画の策定作業を進めてきましたが、最終的な市民参画としてこの新しい総合計画（案）に掲げる将来像や主な施策・事業等について、多くの方々から直接ご意見をいただくための説明会です。

◆説明内容～第2次安平町総合計画（案）に掲げる将来像、主な施策や事業について

将来像 (案)	『育てたい　暮らしたい　帰りたい　みんなで未来へ駆けるまち』 多くのご意見をいただき、客観的な分析を行った上で、「安平町の強み」が集中する分野は『子育て・教育分野』であることを確認し、この政策分野を核としたまちづくりに向け、目指す方向性として『将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち』となるよう、将来像を導き出しています。
主な施策と事業の一例	<p>◇子どもが安心して遊び学べる環境づくり</p> <p>子どもの社会性や思考力、創造力など、就学後の生活や学習の基礎となる力を幼児期に育むため、質の高い特色ある保育・教育サービスの提供と利用者ニーズへの迅速な対応を目指した民間法人による「認定こども園」を核とした就学前教育や遊びを通じた教育の実現に向けた取組み、多様な子育て支援サービスの充実を図りながら、安心して子どもを産み、育てられるための環境づくりを目指すもの。</p> <p>その一貫として、追分地区に点在している「子育て支援施設」を集約し、既存施設を活用した「認定こども園・児童福祉複合施設」を整備中であり、平成29年4月からの開園・開始を予定している。</p> <p>◇官民連携による回遊交流ステーション形成事業・道の駅建設など交流拠点の整備</p> <p>安平町全体を一つの観光施設と見立て、資源（魅力）を有機的に結びつけながら人の回遊を促し、そして地域の活性化を図っていく「回遊交流ステーション形成事業」の実現に向け、観光事業の中心を担う観光協会や行政、市民、関係機関が一体となった観光コンテンツの開発による交流人口の拡大を目指すもの。</p> <p>その一貫として、安平町の情報発信基地・回遊交流の拠点として、「(仮称)道の駅あびら」の建設事業を計画している。</p>



北海道日本ハムファイターズ OPENING GAMES ご招待

4月1日（土）・2日（日）

各日 200名様限定



今年度の「北海道179市町村応援大使」の当選に伴い、町民の皆様にご招待のご案内を申し上げます。

北海道日本ハムファイターズは3月31日（金）、4月1日（土）、4月2日（日）の埼玉西武ライオンズ3連戦を「OPENING GAMES2017」と題し、本拠地・札幌ドームで開催いたします。

ファイターズは「日本一連覇」に向けて、ファンの皆様と共に、勝利に向かいチーム一丸となって優勝を目指して戦います。勝利に向かって戦う応援大使に任命されている選手たちに、熱いご声援をお願いします！

対象日程【場所：札幌ドーム】

試合日	試合開始	対戦相手
4月1日(土)		
4月2日(日)	14:00～	vs 埼玉西武ライオンズ

対象座席 C指定席（※墨側は選べません。）

※席種は変更する場合がございます。

招待枚数 4月1日(土)200枚・4月2日(日)200枚（合計400枚）

申込方法 電話受付のみ【先着順／お一人様4枚まで】

安平町役場まちづくり推進課☎②2514

申込期間 2月6日(月)～2月17日(金)

チケット受渡方法 3月1日(水)以降に下記でお受け取りください（郵送はいたしません）。

早来地区在住者：まちづくり推進課（早来庁舎）

追分地区在住者：健康福祉課住民サービスグループ（追分庁舎）

注意事項

※4歳以上から入場券が必要となります。4歳未満でも座席を確保する場合には入場券が必要となります。

※球場までの移動手段（宿泊含む）の手配並びに費用は各自ご負担となります。

※会場内でファウルボールや折れたバット等により負傷された場合、応急処置はいたしますが、主催者・球場管理者に帰責事由がある場合を除き、その後の責任は負いかねますので、ご了承ください。

児童扶養手当・特別児童扶養手当 という制度をご存知ですか？

児童扶養手当とは

父母の離婚、DVなどにより、父または母と生活を共にしている児童を養育されている家庭（ひとり親家庭）の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。



特別児童扶養手当とは

身体や精神にしうがいのある20歳未満の児童を養育されている父母等について、児童の福祉の増進を図るために支給される手当です。



【児童扶養手当の月額】(参考)

◆子ども1人の場合

- 全部支給：42,330円
- 一部支給：42,320円～9,990円
(所得に応じて決定)

◆子ども2人以上の加算額

- 2人目 10,000円
- 3人目以降1人につき 6,000円

【特別児童扶養手当の月額】(参考)

- 1級：51,500円
- 2級：34,300円

児童扶養手当・特別児童手当を受給するには所得制限や

申請に必要な書類もありますので、詳しくは下記へお問い合わせください。

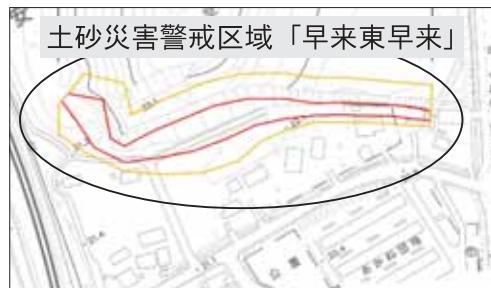
問合せ 健康福祉課福祉・住民サービスグループ ☎ 4556

北海道からのお知らせ 土砂災害警戒区域の指定について

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく基礎調査の結果、東早来の急傾斜地が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定されました。

なお、北海道では「北海道土砂災害警戒情報システム」のウェブサイトにおいて、指定箇所の位置や区域を示す電子ファイルを公開しています。

(<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/soilWarning/displayMap.do>)



「北海道土砂災害警戒情報システム」の左側にあるメニューのうち「土砂災害警戒区域等の指定状況」を選択してください。

苫小牧市医師会休日当番実施医療機関 (診療時間9時～17時)

2月 (内科)			2月 (外科)		
11日 苫小牧東病院	明野新町5	(55) 8811	11日 ケーアンドエークリニック	日新町2	(71) 2000
12日 桜木ファミリークリニック	桜木町2	(71) 2351	12日 同樹会苫小牧病院	新中野町3	(36) 1221
19日 とまこまいこどもクリニック	住吉町1	(33) 1050	19日 苫小牧日翔病院	矢代町2	(72) 7000
26日 いまい内科クリニック	双葉町1	(37) 8686	26日 とまこまい脳神経外科	光洋町1	(75) 5111
3月 (内科)			3月 (外科)		
5日 吉川病院	表町5	(34) 4565	5日 アーク整形外科クリニック	ときわ町3	(68) 6111

苫小牧夜間休日急病センター

(苫小牧市旭町2丁目) ☎ 0144 (32) 0099

科 目 内科・小児科

診療時間 平日：19時～翌朝7時 土曜：14時～翌朝7時

日曜・祝日・年末年始（12/31～1/3）：9時～翌朝7時



▽次回広報配布日は
広報笑顔（スマイル）
2月号

2月20日㈪・広報あびら3月号

3月6日㈪です。

▽町ホームページでもご覧いただけます。

安平町合併10周年記念誌を配布しています

合併10年の節目に記念誌を作成し町内の全戸へ配布しましたが、まだ在庫があるため、ご希望の方へお渡ししています。郵送対応を行いますので、下記へご連絡ください。

※この記念誌は、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源に実施している『コミュニティ助成事業』という宝くじの助成金で発行しました。

問合せ 総務課情報グループ☎②2511



戸籍の窓口から

※戸籍の窓口で掲載の確認ができた方を掲載しています。

○お誕生おめでとうございます

天野 さすけ 佐亮ちゃん (男・正雄) 12/24 早来栄町

○お悔やみ申し上げます

岩崎 行雄さん (91) 追分若草 12/15
木原 芳子さん (89) 安平 12/20
作田 希子さん (85) 追分本町 12/25
長谷川はまのさん (96) 追分白樺 12/29
高野 あけみさん (57) 追分縁が丘 1/8
佐藤 みよ子さん (84) 追分花園 1/9
富吉 ひさのさん (94) 早来大町 1/17
高浜 美津さん (97) 追分本町 1/18

○ご結婚おめでとうございます

{ 熊澤 聰明さん (早来栄町)
今井 麻美さん (早来大町)

善意 (12月14日～1月19日受付分)

町へ (指定寄付)

・匿名

社会福祉協議会へ

篤志寄付

・山木 勉さん (追分弥生)

「広報あびら1月号」点訳

・安平町点訳赤十字奉仕団

ふるさと納税 (12月の寄附件数)

安平町は、たくさんの方に応援いただいているいます。

●件数 15,153 件 (金額 173,340 千円)

マチの人口・世帯

総人口 8,252人 (- 23)
男性 4,082人 (- 15)
女性 4,170人 (- 8)
世帯数 4,191世帯 (- 19)
(平成29年1月31日現在)

交通事故死ゼロ運動

平成29年1月31日現在

32日

公営住宅・特公賃住宅・町営住宅の入居者募集は、広報笑顔（スマイル）をご覧ください。



ABIRA CHANNEL

あびらチャンネル▶2月(16日～28日)の番組表◀

放送日時	放送予定	時間
2月16日(木)～ 2月28日(火)	アビラのできごと 『スケート交歓記録会、追分幼稚園閉園記念式典、地域おこし協力隊あいさつ』ほか	35分
毎日8時～20時	あびらでつながり隊！Vol.7 (再)体操教室&貯筋教室 vol.21	25分 15分
	ロビーコンサート	15分
	サイエンスチャンネル	30分

(放送番組は予定を変更する場合があります。)

・あびらでつながり隊！地域おこし協力隊山田レポーター奮闘中！
「山田レポーターに来て貰って、体験&PRしてほしい」という団体や商店などありましたらご連絡ください。

★放送時間：毎日8時～20時 (2時間1セットの番組を6回放送)

★番組表は、あびらチャンネルデータ放送「主なトピックス」に掲載中！

★番組の更新 毎月1日、16日に更新

★あびらチャンネルはインターネットでも閲覧できますが、プライバシー保護のためURL及びQRコードを他に公表することのないよう、ご協力お願いします。

★あびらチャンネルについては、総務課情報グループ
(☎②2511)までご連絡ください。

元気に 大きくな～れ！



星野隆平くんと
お母さんの真由美さん
(早来栄町)



平尾琉愛ちゃんと
お母さんの真沙美さん
(早来大町)

CHILD
&
MOTHER

※広報紙に掲載した写真を無料で提供していますので、ご希望の方
は総務課情報グループ(☎②2511)へご連絡ください。

なお、第三者の方へは提供できませんので、ご了承ください。

詳しくは、広報あびら
3月号でお知らせします
ので、ご理解とご協力を
お願いします。
(誠)

今日は、いつもとは違う編集後記となっていました。（楽しみにしている方、ごめんなさい。）
14ページにも少し書いていますが、「まちの力レンダー」の発行を終了することとしました。
これは、広報モニターと町で決定したものではなく、「まちのカレンダーにある情報を別の媒体でも知ることができますなら、まちのカレンダーはなくともいい」「税金の無駄使いはやめて欲しい」と言う町民の方の意見も参考にしています。
それら意見とコストの削減を図るため、3月でまちのカレンダーの発行を終了し、4月からは行事予定を広報紙に掲載するなど、若干の改善をしていく予定です。

編集後記